

余儀なくされます。その後、戦後の食糧不足解決のために再び灌漑用ダム早期築造が要望されるようになったのは昭和二十二年



大松の根を板根して開墾がすむ

になつてからでした。中止となつていた羽鳥ダム工事も開墾事業と共にようやく着手されました。それから十年後、幾多の苦難を乗り越え、昭和三十一年十一月十一日に矢吹小学校講堂で羽鳥ダムの竣工式が行われました。明治十八年に星吉右衛門の提案した羽鳥用水がついに完成したのです。住民の永年の夢であった農業用水ダムの完成により、矢吹が原は今日の豊かな田園地帯へと生まれ変わったのです。

幾多の苦難を重ねた国営開墾事業 昭和31年 羽鳥ダムがついに完成

3000ヘクタールにもおよぶ広大な土地への疎水計画は明治、大正、昭和の3つの時代を経てついに実現された夢のプロジェクト。戦争や御料地問題など数々の苦難を乗り越えて完成された羽鳥ダムは、多くの人々の努力と情熱が作り上げた夢の結晶でした。

Yabukigahara
Stories

3

矢吹が原
の軌跡

